

保護者会役員さんからの質問事項に対する回答について

2022. 3. 23 子育て支援室

Q 1. 現在加美町が保育所の民営化を進めようとしているが、民営化後のイメージが分かるように、実際に民営化を実施した市町村の事例を参考までに教えて頂きたい。

A：県内においても、公立保育所を民営化している市町村が増えてきております。特に公立保育所が建物等の老朽化により、施設を廃止するタイミングで民営化へ移行している市町村が比較的多いようです。

参考までに民営化した市町の事例をお示ししておきますが、多くの市町で3～4年程度の期間を経て民営化しているようです。

- ・角田市A園 H28 募集 → H29 事業者決定 → H30 新園舎建設、合同保育 → H31 民間園開園
- ・名取市B園 H29 募集 → H30 事業者決定、合同保育 → H31 民間園開園
- ・多賀城市C園 H29 募集、事業者決定 → H30 合同保育 → H31 民間園開園

Q 2. 民営化によって、行政の経費が5,400万円程度削減されると資料にあったが、最低でもその削減された分を今後選定される事業者が負担していくと考えていいのか。現状の経費でも施設修繕、保育士確保等に課題がある状況で、これまでよりも削減するようでは、保育の質が下がることにもつながるのか。

A：令和2年度の決算額で比較すると、中新田保育所で22,360万円かかっていたものが、民間では16,900万円で運営できるという試算となりますので、今後5,400万円を事業者が負担していくということではありません。

民間移行後も、施設の維持管理費は必要になると思われます。公立では職員の平均年齢が高く、人件費率が高かったこともあげられます。民間園になれば、国1/2・県1/4・町1/4の保育給付費で運営でき、町の負担は10/10から1/4になります。

町内には私立の認定こども園、幼稚園及び小規模保育所があり、保育給付費により専門的かつ安定的な運営をされていますので、民営化により保育の質が下がることはないと考えます。

Q 3. 保育料は変わらない。保護者負担が大きく増えることはないが、保育料とは別に、何らかの集金等はこれまでよりも増えることもあるのか。

A：民営化した保育園へ確認したところ、オムツ処理（参考：100円～200円/月）代や3歳以上児の主食費（主食を園で提供している場合。参考：1,000円/月）が増えたという施設がありました。保育料以外の料金は、具体的には事業者が決定してから決まりますが、保護者の負担ができる限り増えることがないよう、事業者決定後に保護者を交えた話し合いをしていきたいと思っております。

Q 4. 事業者選定までの期間が6カ月から1年程度を想定しているようだが、保育士が不足している状況の中で、ガイドラインの条件をクリアし、さらに質の高い職員の確保ができる事業者を選定できる見込みはあるのか。

A：事業者を選ぶ際には、スケジュール資料のとおり4年度に選定委員会を組織し、公募、審査を経て令和4年10月頃に決定する予定としています。

事業者選定基準について、ガイドラインに「保育の質を維持・向上できる優良な事業者を選定すること」としており、町が指定する条件に対応できる事業者を選定することとなります。また、保育士の採用においては、宮城県保育協議会の「保育士人材バンク」や宮城県内の保育士養成校とも連携し、質の高い保育士の確保に務めます。

加美町の地域性も含め、十分に理解のある参入希望事業者の中で、最も優良な事業者を選定して参りたいと思います。

Q 5. 中新田保育所の民営化については賛成である。ただし、現在の運営、環境等すべてにおいて満足しているため、現状と同等またはより良いものになるという確たるものがない場合、妥協して民営化を推し進めるのではなく、現状の町の運営を継続する選択肢も残して欲しい。

A：民営化について賛成へのご意見を頂きありがとうございます。また、現状の中新田保育所の運営や環境等にも満足しているという大変ありがたいご意見もあり、感謝致します。

民営化にあたり、現状の中新田保育所の一定の保育内容を継承し、新たな保育サービスとして病後児保育、産休明け保育、延長保育、特別支援保育を実施に努めることを参入条件としています。また保育内容の充実と向上を図れるより良い対応ができる事業者を選定して参ります。

事業者決定後、保護者も入った話し合いの場で皆様からご意見も十分にお聞きし、民営化への円滑な移行を進めて参りたいと思います。